

パラグライディングクロスカントリー日本選手権規定【改定日:2025年1月1日】

赤字修正箇所

修正箇所

① 2. 参加資格d)の変更

→ 開催年度から P JL 大会に出場を始めて実績のある有力選手にも参加資格を与えるため

② 2. 参加資格 a)、b)、e)の変更

→ 期間を明確化させるため

③ 6. 正会員代表の変更

→ 開催年度から P JL 大会に出場を始めて実績のある有力選手にも参加資格を与えるため
また、選抜の基準期間を長くすることにより、選手の実績の安定性も考慮されるため

④ 7. ⑥選抜方法の変更

→ 同上

1. 日本選手権の開催

日本選手権を開催しようとするものは、原則として日本選手権開催予定年の前々年の 12 月までに必要書類(開催要項および地図)を揃えて、その旨を JHF に提出しなければならない。その内容の検討は JHF パラグライダー競技委員会で行い、開催の決定は開催予定年の前年の 3 月までの理事会において行うものとする。

2. 参加資格

日本選手権の参加資格は以下の 5 項目全てを満たすものとする(オープン参加の外国人は除く)。

- a) 大会期間中有効な日本の FAI スポーティングライセンスを所持するもの。
- b) 大会期間中有効な JHF フライヤー登録をしているもの。
- c) JHF PG クロスカントリー技能証 (XC 証)を所持していること。
- d) 開催年度以前の3年間において P JL 大会(P JL ランキング計上大会)への参加実績(P JL ポイントを獲得している)があること(例:~~2023~~2025年度開催大会の場合、~~2020~~2023年度～~~2022~~2025年度の参加実績)、または CIVL World Ranking にランキングがあること。

<<https://civlcomps.org/ranking/paragliding-xc/pilots>>

- e) 次のいずれかに該当するもの。

- ・シード選手
- ・正会員代表
- ・学生連盟枠
- ・開催地元枠

- ・女子優先枠
- ・前年度 PJJ ランキング (オープンクラス) 上位者
- ・今年度 PJJ 登録者

オープン参加の海外から参加する外国人選手の参加資格は次のものとする。

- ・大会期間中有効な FAI スポーティングライセンス (日本以外で発行されたもの) を所持していること。
- ・大会期間中有効な JHF フライヤー登録証を所持していること。
- ・IPPI Card ParaPro 5 (Cross Country) を所持していること。
- ・CIVIL World Ranking にランキングがあること。

<http://civlrankings.fai.org/?a=326&l=0&ladder_id=3&nation_id=117>

3. 使用機体

使用可能な機体は、「パラグライディング公認大会規則」に定められているものに準じる。

4. 大会の種類

大会はジャパンリーグ対象大会、および FAI カテゴリー2 大会とすること。ゼッケンは日本選手権独自のものが採用される場合がある。

5. シード選手

シード選手は前年度日本選手権 10 位まで (日本選手権として不成立でも PJJ として成立している場合はその順位) および前年度 PJJ ランキング (オープンクラス) 10 位までのもの (重複があっても繰り下げはしない) とする。

(前年度日本選手権が開催されなかった場合は、直近の日本選手権結果に基づく)

6. 正会員代表

正会員の資格を持った各都道府県から代表 1 名を選出する際には、各都道府県連に所属しているものうち、~~日本選手権開催前年度の PJJ ランキング~~ **日本選手権参加受付終了日の 4 週間前時点で日本代表選抜ランキングポイントを有しているものを選出する。**その際、最上位者 (5 項のシード選手を除く) を選出することを推奨する。

7. 参加選手選抜方法

総予定エントリー人数から下記選抜を実施する。

- ① シード選手 (前 5 項による)
- ② 女子優先枠: 総予定エントリー人数の 10%。ただし①～④の選手もこの枠に含めるものとし、日本選手権開催前年度の PJJ ランキング上位から選出する。
- ③ 正会員代表: 正会員の資格を持った各都道府県代表 1 名
- ④ 学生連盟枠: 1 名
- ⑤ 開催地元枠: 正会員の資格を持った都道府県の場合に限り最大 2 名 (当該都道府県連に所属しているもの)。

⑥ 残りの人数を~~日本選手権開催前年度の PJL ランキング(オープンクラス)~~日本選手権参加受付終了時における日本代表選抜ランキング上位(0点を除く)から選出する。

⑦ それでもエントリー枠に空きがある場合は、当年度 PJL ランキング(オープンクラス)上位者等に解放する(選抜方法は実行委員会等に任せる)。

8. 大会の準備

プレ大会とも言うべき日本選手権と同規模の大会を予め開催し、経験を積んでおくこと。

9. 陪審員

大会開始前に2名以上の公式審判員からなる陪審員を設置することが望ましい。陪審員は抗議があった場合はこれを審議し、認否の決定を下す。この陪審員に関わる費用は JHF が負担するものとする。

陪審員が設置されない場合は、JHF パラグライダー競技委員会が抗議に対する審議等を実施する。

10. 書類の提出

申請に必要な書類は、日本選手権開催の三ヶ月前まで、または FAI カテゴリー2 大会規定に定められた期日まで、そのどちらか早い期日までに、JHF パラグライダー競技委員会へ提出すること。

11. 補欠募集

主催者は予定エントリー人数に達するまで補欠募集をすることができる。その方法は7項に準ずる。

12. 成立条件

日本選手権が成立するためには、開催日程最終日(予備日を含む)まで競技を行った上で、大会で成立したタスクのデイクオリティを合計した値が 1.2 以上、かつ成立したタスクのどれか 1 本のデイクオリティが 0.6 以上となる必要がある。

13. 女子表彰

実際の女子参加人数が 5 名以上なおかつ参加選手総数の 10%以上であった場合、女子の 1 位を女子日本選手権者とする。